消防団春季検閲式

4月22日、約１００人の団員が活動服に身を包み、「自分のふるさとは、自分たちで守る」と、制服や消防ポンプなどの点検に臨みました。消防団員の確保など課題はありますが、役場消防隊の強化など消防体制の在り方について、早急に対応していきます。

大雷神社遷宮大祭・飯樋４区復興祭

5月3日と4日の2日間、飯樋地区の大雷神社遷宮大祭が10年ぶりに開催されました。あわせて開催された飯樋四区復興祭では、帰村した方や避難先から駆け付けた村民らが交流を深めました。

浄化槽設置整備事業

平成30年度予定した40基のうち、5月15日現在で11件の申請が完了し、うち新築家屋に係る申請は10件ありました。

課税状況

5月に固定資産税の納税通知書を２，２０８通、軽自動車税の納税通知書３，８５２通発送しています。このうち、減免となるのは、個人所有の家屋や土地の固定資産税が２，０１２人、使用していないトラクターなどの軽自動車税が８１４台となります。

村民の帰還状況

6月1日現在の村への帰還者は３４７世帯で７２７人、震災後の転入者は66人です。これに、いいたてホームの入所者などを合わせ、村内の居住者は４１９世帯で９３２人です。

やまゆり保育所

やまゆり保育所の修了式と閉所式を3月末日に行いました。平成29年度の修了児は9人で、17年間で総数１６９人の子どもたちが修了しました。

総合健診

5月8日から5月16日までの間の8日間、16歳以上の全村民を対象に健診を実施しました。受診者は、昨年度に比べ38人減の１，２４２人でした。

今年は帰村している村民も増えているということで、村内のいちばん館で3日間実施したところ、昨年2日間で５０４人だった受診者が７１６人に増え、全体の57．６％と、多くの村民が受診しました。

いいたてクリニック

昨年度同様、火曜日と木曜日の週2回午前中の診療を行っています。利用者も増えて、現在1日あたりの利用者は8人程度となっています。

農政関係

平成29年度末の避難指示解除後、2年目になる今年度も、昨年に引き続き5月8日から田植えが行われました。水稲の作付け面積は、昨年度の5地区約8．1ヘクタールから、12地区約21ヘクタールまで増えています。品種は、昨年度の「里山のつぶ」「天のつぶ」「コガネモチ」のほか、今年度は、主食用米の「こしひかり」「あきたこまち」「ひとめぼれ」「ヒメノモチ」、飼料用米の「ふくひびき」、ホールクロップサイレージ用の「チヨニシキ」、酒米用の「夢の香」と種類も増加しています。

農による生きがい再生支援事業

販売を目的としない農業者を支援する農による生きがい再生支援事業は、平成29年度の実績は１６０件ですが、今年度は5月末までに、64件の申請が上がっています。

なお、これらの方々に対しては、福島県営農再開支援事業のメニューを活用して県内の畜産農家から購入した良質な堆肥や、イノシシ・サル被害防止用の電気牧柵等の導入を実施しています。

宿泊体験館「きこり」

平成28年3月に再オープンしたイオラなどの入浴施設は、今年4月までに1万１，７９４人の利用があり、村民の憩いの場・交流の場となっています。

また、昨年5月8日に素泊まりの宿泊業務を再開し、一年が経過しましたが、4月末までの宿泊者数は２，１３９人となっています。

学校の村内再開

村内に再開した学校には、こども園に29人、小学校に33人、中学校に42人、計１０４人の子ども達が通っています。

4月1日、中学校体育館で、まごいの里のこども園、草野小学校、飯樋小学校、臼石小学校、飯舘中学校合同の開校式を行いました。

4月6日には、小中学校の合同入学式、4月9日にはこども園の入園式が行われ、それぞれ村での新しい学校生活が始まりました。

陸上競技場及びサッカー場

野球場、陸上競技場及びサッカー場については、7月末の完成を目指して工事を進めています。8月12日にはグランドオープンのイベントを予定し、現在準備を進めています。

特に、サッカー場については、サッカーＪリーグのＪ３福島ユナイテッドの下部組織であるアンダー13、14のチームがリーグ戦の会場として使用したいなど、村外からの問い合わせもあり、今後の利活用につなげていきたいと考えています。